

MEE

受付案内システム

形名

CA-12LTD2-1

カスタマイズ説明書

コン コン コール

Computer Conducting Call System

ライトタイプ

本説明書はシステムメンテナンスの詳細を説明したものです。

日常のお取り扱い等は、取扱説明書に記載していますので、そちらを参照してください。

目次

1	ご使用になる前に.....	1
1)	コンコンコール システムメンテナンスとは.....	1
2)	カスタマイズによる空き容量について	1
2	システムメンテナンス.....	2
1)	システムメンテナンス画面	2
◆	起動方法.....	2
◆	メニューバー	2
◆	ツールバー	3
◆	操作方法.....	3
2)	Database フォルダ(画面、BGM 等の設定).....	4
◆	Backgrounds(背景)フォルダ	4
◆	BGM(環境音楽)フォルダ	4
◆	BGVs(動画)フォルダ	5
◆	Elements(画面要素)フォルダ	5
◆	Form(画面)フォルダ	10
◆	HTMLs(Web)フォルダ	11
◆	Images(画像)フォルダ	11
◆	Sections(内線データ)フォルダ	12
◆	Sounds(効果音)フォルダ	12
3)	Plugins フォルダ(グラフィック描写 dll)	13
4)	Settings フォルダ(システム設定).....	13
5)	パラメータ設定における補足事項	14
◆	コンコンコールにおける環境変数	14
◆	イベント処理	14
6)	カスタマイズにおける補足事項	18
◆	Formsの対応画面について	18
◆	Elements(画面要素)、HTMLs(Web)の配置位置について.....	19
3	お手持ちのパソコンでデータをメンテナンスする.....	20
◆	メンテナンスツールのインストール	20
◆	メンテナンス方法.....	21
4	コンコンコールのカスタマイズ例.....	23
1)	メニュー画面の構成を変更する	23
2)	メニュー画面のボタン名称を変更する.....	24
3)	「English」ボタンを追加してバイリンガル対応にする.....	24
4)	タイトル画面の組織名をロゴ(画像)に変更する.....	25
5)	画面にメッセージを追加する	26

1 ご使用になる前に

1) コンコンコール システムメンテナンスとは

表示される文章の変更、ボタンの色の変更、背景・BGM の変更など、お客様独自でシステムの設定を変更する時に使用します。

設定変更は、コンコンコール システムメンテナンス（以下システムメンテナンス）を使用します。

お願い： システムメンテナンスにはコンコンコールの動作に関わる内容が数多く登録されています。不用意に内容を変更されますとコンコンコールが正常に動作しなくなる恐れがあります。本書に書かれている内容を十分理解した上で操作してください。

2) カスタマイズによる空き容量について

データを追加することによりデータベースファイルのサイズが大きくなります。データベースファイルの最大サイズは、CF カードにデータベースファイルのサイズの2倍以上の空き容量を確保できるサイズまでとしてください。空き容量が少ないと動作不良の原因となります。

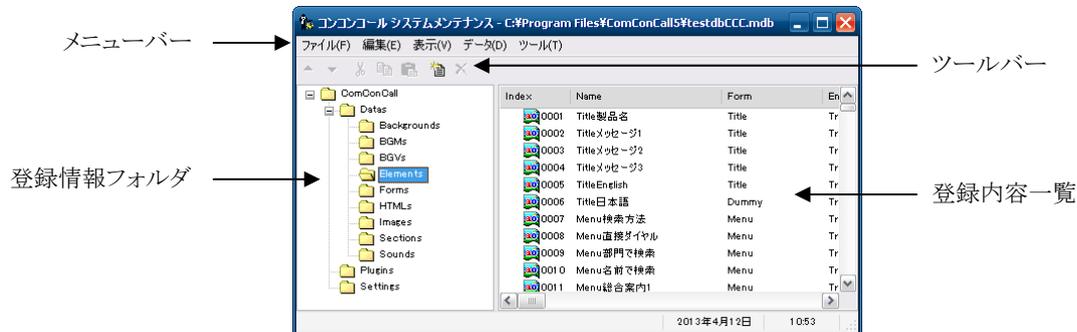
特に動画、背景、音声を追加する場合は空き容量に注意してください。

例) データベースファイルサイズが 200MB の場合、 $200\text{MB} \times 2 \text{ 倍} = 400\text{MB}$ の空き容量が必要です。

2 システムメンテナンス

1) システムメンテナンス画面

コンコンコールのカスタマイズは、システムメンテナンス画面を使用します。



システムメンテナンス画面の表示例

◆ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- デスクトップ上の「管理メニュー」ショートカットアイコン()を実行し、**コンコンコール ライト システムメンテナンス** を選択します。
- Windowsの「スタート」メニューから **すべてのプログラム(P) - コンコンコール ライト Ver6.0 - コンコンコール ライト Ver6.0 システムメンテナンス** を選択します。

◆ メニューバー

ファイル(F)

- 外部データベース書き出し(バックアップ)...** ...外部のデータベースへデータのコピーを作成します。
- 外部データベース取り込み(復旧)...** ...外部のデータベースファイルからデータを取り込みます。
- データベースの修復(R)** ...データベースを修復します。
- システムメンテナンスの終了(X)** ...システムメンテナンス画面を終了します。

編集 (E)

- 切り取り (T)** ...選択しているデータを切り取ります。
- コピー (C)** ...選択しているデータをコピーします。
- 貼り付け (P)** ...コピーしたデータを貼り付けます。

表示 (V)

- ツールバー(T)** ...ツールバーの表示／非表示を設定します。
- ステータスバー (B)** ...ステータスバーの表示／非表示を設定します。
- バージョン情報 (A)** ...バージョン情報を表示します。

データ(D)

- 新規作成(N)** ...データを新規作成します。
- 削除(X)** ...選択しているデータを削除します。
- 上へ (U)** ...選択しているデータを上に移動します。
- 下へ (D)** ...選択しているデータを下に移動します。

ツール(T)

- インポート(I) テキストファイルを選択されているフォルダに取り込みます。
- エクスポート(E) 選択されているフォルダの内容をテキストファイルとして出力します。

◆ ツールバー

-  対象データの順序を変更します。
-  対象データを切り取ります。
-  対象データをコピーします。
-  切り取りまたはコピーしたデータを貼り付けます。
-  データを新規作成します。
-  対象データを削除します。

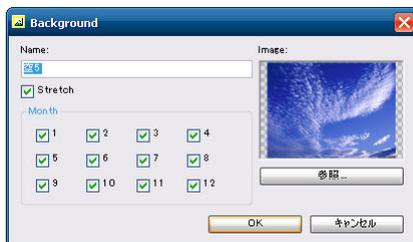
◆ 操作方法

- ① 登録情報フォルダの中から目的のフォルダを選択します。
- ② 新しい項目を追加する場合は、**データ(D)－新規作成(N)** を選択します。(またはツールバーの  をクリックします。)
- ③ 既存の項目の内容を変更する場合は、登録内容一覧に表示されている目的のアイコンをダブルクリックまたはキーボードの [Enter]キーを押し、登録内容一覧画面を表示させます。
- ④ 既存の項目を削除する場合は、**データ(D)－削除(X)** を選択します。(またはツールバーの  をクリックします。)
- ⑤ 登録内容の順序を変える場合は、**データ(D)－上へ(U)** または **データ(D)－下へ(D)** を選択します。(またはツールバーの  をクリックします。)

2) Database フォルダ (画面、BGM 等の設定)

◆ Backgrounds(背景)フォルダ

タイトル画面に表示される背景です。背景は日替わりで登録されている順に表示されます。毎月1日～31日まで自然(山、滝、花)の背景をお好みに応じて変更できます。



Backgrounds 登録内容画面の例

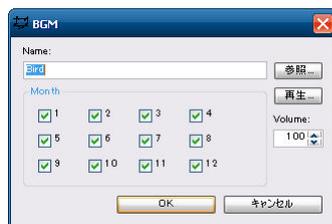
項目	説明
Name	登録データ一覧表示でデータを識別するために設定します。省略してもかまいません。
Stretch	背景の表示方法を指定します。チェックすると画像を画面全体に表示します。チェックしない場合、画像は登録されている大きさと画面全体に並べ敷き詰めます。
Month	背景を表示させる月を指定します。チェックを外すとその月は表示されません。
Image	登録される背景のイメージです。実際に登録されている大きさと異なります。
参照...	“ファイルを開く”ダイアログボックスを表示させ登録・変更する画像ファイルを選択します。選択できる画像ファイルは、Windows ビットマップファイル又は JPEG、PNG 形式です。

お願い: 背景画像を登録することによりデータベースファイルのサイズが大きくなります。データベースファイルの最大サイズは、CF カードにデータベースファイルのサイズの2倍以上の空き容量を確保できるサイズまでとしてください。空き容量が少ないと動作不良の原因となります。

例) データベースファイルサイズが 200MB の場合、 $200\text{MB} \times 2 \text{ 倍} = 400\text{MB}$ の空き容量が必要です。

◆ BGM(環境音楽)フォルダ

タイトル画面・動画画面で再生される音楽(環境音)です。



BGMs 登録内容画面の例

項目	説明
Name	登録データ一覧表示でデータを識別するために設定します。省略してもかまいません。
Month	BGMを再生させる月を指定します。チェックを外すとその月は再生されません。
参照...	“ファイルを開く”ダイアログボックスを表示させ登録・変更する音楽ファイルを選択します。選択できる音楽ファイルは、Windows WAV ファイル形式です。
再生...	登録されている音楽データを再生します。
Volume	BGMの音量を設定します。

◆ BGVs(動画)フォルダ

動画画面で再生される動画です。通常は使用しません。



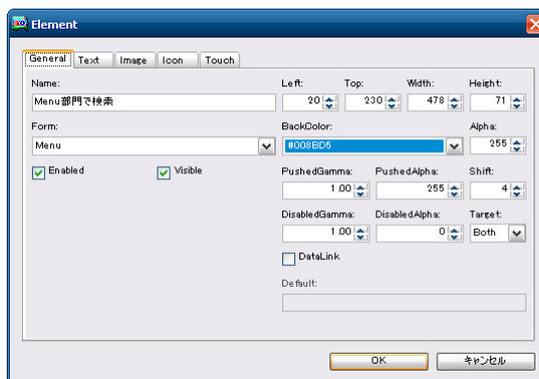
BGVs登録内容画面の例

項目	説明
Name	登録データ一覧表示でデータを識別するために設定します。
Month	動画を再生させる月を指定します。チェックを外すとその月は再生されません。
Volume	動画の音量を設定します。
FileName	動画ファイルのファイル名を指定します。絶対パスで指定も可能です。
参照...	“ファイルを開く”ダイアログボックスを表示させ登録・変更する動画ファイルを選択します。選択する動画ファイルは、あらかじめmpeg1形式*でC:\¥Program Files¥ComConCallLight¥Datasフォルダに保存しておきます。

※注意:動画ファイルはmpeg1形式のみ動作保証しております。他の形式の動画ファイルはご使用にならないでください。画面のフリーズやシステムファイル破損の原因となります。

◆ Elements(画面要素)フォルダ

画面を構成するメッセージや画像などの画面要素です。また、コンコンコールの実行中にここで登録した画面要素がタッチされたときの動作を記述することができます。

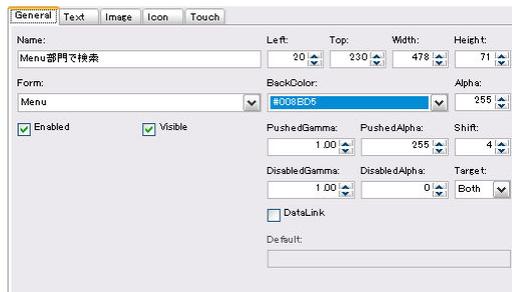


Elements登録内容画面の例

設定項目は機能毎にタブで以下のようにグループ化されています。

グループ(タブ)	説明
General	画面要素の基本的な情報です。
Text	表示する文字や文章に関する情報です。
Image	画面要素の背景となる画像の情報です。
Icon	Text や Image より前面に表示する画像(アイコン)に関する情報です。
Touch	画面要素がタッチされたときの動作に関する情報です。

- General タブ

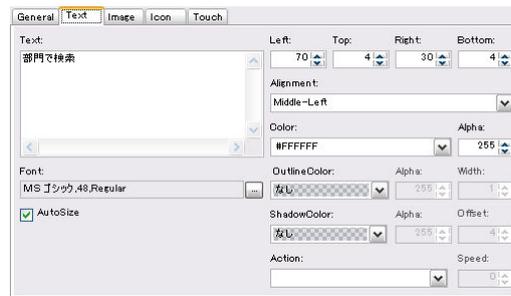


General タブ表示例

項目	説明
Name	登録データ一覧表示でデータを識別するために設定します。
Form	画面要素を表示する画面の名前(Name)を指定します。▼をクリックし一覧より選択してください。
Enabled	画面要素の有効・無効を設定します。チェックが無い場合 Event の機能が無効化されます。また表示は Disabled から始まる項目の値が適用されます。
Visible	この画面要素を表示するかどうかを設定します。チェックの無い場合画面には何も表示されず、画面タッチに対し Event に登録されたスクリプトも実行されません。
Left	画面要素の表示横位置をピクセル単位で指定します。(0~800) ※1
Top	画面要素の表示縦位置をピクセル単位で指定します。(0~600) ※1
Width	画面要素の幅をピクセル単位で指定します。(1~800) ※1
Height	画面要素の高さをピクセル単位で指定します。(1~600) ※1
BackColor	画面要素の表示範囲を塗りつぶす背景色を指定します。 Image 項目が設定されている場合画像にここで指定された色のフィルタがかけられます。右側の▼をクリックすると、“色の指定”ダイアログボックスが開きますので、一覧の中から目的の色を選択します。 Alpha にて塗りつぶす背景色の透明度を 0~255 の範囲で設定します。数値が小さくなるほど透明度が高くなります。
PushedGamma	画面要素がタッチされたときの基本的な文字や画像の明るさを 0.01~2.0 の範囲で設定します。数値が小さくなるほど暗くなります。
PushedAlpha	画面要素がタッチされたときの基本的な文字や画像の透明度を 0~255 の範囲で設定します。数値が小さくなるほど透明度が高くなります。
Shift	画面要素がタッチされたときの基本的な文字や画像の表示位置ズレ幅を設定します。
DisabledGamma	画面要素が無効化されているときの基本的な文字や画像の明るさを 0.01~2.0 の範囲で設定します。数値が小さくなるほど暗くなります。
DisabledAlpha	画面要素が無効化されているときの基本的な文字や画像の透明度を 0~255 の範囲で設定します。数値が小さくなるほど透明度が高くなります。
Target	画面要素が無効化されているときの表示を文字などの前景(Fore)かイメージなどの背景かまたは両方(Both)かを指定します。
DataLink	内線データと関連付けるかどうかを設定します。同一画面上に複数の内線データと関連付けられた画面要素が存在する場合、 Index の数字が小さいものから順に内線データのレコードが割り当てられます。内線データの内容は環境変数として設定され、 Text や Image から利用することができます。環境変数に関する詳細は「 2.4) パラメータ設定における補足事項 」の「 コンコンコールにおける環境変数 」を参照してください。
Default	内線データと関連付けした時のデータ抽出条件を設定します。この値を設定すると、データ抽出条件に合うデータが存在しない場合に画面要素は無効化されます。

※1 範囲外に指定した場合は、画面要素が表示されません。範囲内で指定してください。

- Text タブ



Text タブ表示例

項目	説明																																													
Text	<p>表示する文字列を設定します。文字列は配置属性や文字属性を指定して自由なレイアウトをすることができます。関連付けされた内線データの内容やコンコンコールにおける環境変数を表示することができます。環境変数に関する詳細は「2.4) パラメータ設定における補足事項」の「コンコンコールにおける環境変数」を参照してください。</p> <p>配置属性及び文字属性は「<属性名=値>」のように「<>」で囲んで指定します。カンマ(,)により複数の属性を指定することができます。配置属性の場合は「<Layout 属性名=値>」のように「Layout」を先頭に追加します。</p> <p>以下に使用できる配置属性及び文字属性を示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>属性名</th> <th>配置属性</th> <th>文字属性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Alignment</td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> <td>文字列の描画範囲内での配置を設定します。指定できる値は Left、Center、Right、Top、Middle、Bottom 及びこれらの文字列の組み合わせです。</td> </tr> <tr> <td>Left</td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> <td>文字列を配置する左端を画面要素の左端からの距離で指定します。</td> </tr> <tr> <td>Top</td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> <td>文字列を配置する上端を画面要素の上端からの距離で指定します。</td> </tr> <tr> <td>Right</td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> <td>文字列を配置する右端を画面要素の右端からの距離で指定します。</td> </tr> <tr> <td>Bottom</td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> <td>文字列を配置する下端を画面要素の下端からの距離で指定します。</td> </tr> <tr> <td>Font</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td>文字列のフォント名を指定します。</td> </tr> <tr> <td>Size</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td>文字列のサイズを指定します。</td> </tr> <tr> <td>Bold</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td>文字列を太字にするかどうかを True または False で指定します。</td> </tr> <tr> <td>Italic</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td>文字列を斜体にするかどうかを True または False で指定します。</td> </tr> <tr> <td>Color</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td>文字列の色 (Black、Red 等の色名または # から始まる8桁または6桁の16進数) を指定します。</td> </tr> </tbody> </table>		属性名	配置属性	文字属性	説明	Alignment	<input type="radio"/>		文字列の描画範囲内での配置を設定します。指定できる値は Left、Center、Right、Top、Middle、Bottom 及びこれらの文字列の組み合わせです。	Left	<input type="radio"/>		文字列を配置する左端を画面要素の左端からの距離で指定します。	Top	<input type="radio"/>		文字列を配置する上端を画面要素の上端からの距離で指定します。	Right	<input type="radio"/>		文字列を配置する右端を画面要素の右端からの距離で指定します。	Bottom	<input type="radio"/>		文字列を配置する下端を画面要素の下端からの距離で指定します。	Font	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列のフォント名を指定します。	Size	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列のサイズを指定します。	Bold	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列を太字にするかどうかを True または False で指定します。	Italic	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列を斜体にするかどうかを True または False で指定します。	Color	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列の色 (Black、Red 等の色名または # から始まる8桁または6桁の16進数) を指定します。
属性名	配置属性	文字属性	説明																																											
Alignment	<input type="radio"/>		文字列の描画範囲内での配置を設定します。指定できる値は Left、Center、Right、Top、Middle、Bottom 及びこれらの文字列の組み合わせです。																																											
Left	<input type="radio"/>		文字列を配置する左端を画面要素の左端からの距離で指定します。																																											
Top	<input type="radio"/>		文字列を配置する上端を画面要素の上端からの距離で指定します。																																											
Right	<input type="radio"/>		文字列を配置する右端を画面要素の右端からの距離で指定します。																																											
Bottom	<input type="radio"/>		文字列を配置する下端を画面要素の下端からの距離で指定します。																																											
Font	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列のフォント名を指定します。																																											
Size	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列のサイズを指定します。																																											
Bold	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列を太字にするかどうかを True または False で指定します。																																											
Italic	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列を斜体にするかどうかを True または False で指定します。																																											
Color	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	文字列の色 (Black、Red 等の色名または # から始まる8桁または6桁の16進数) を指定します。																																											
Font	文字列を表示するフォントの名前、サイズ、スタイルを表示します。右側の  をクリックしてフォントの設定ダイアログから文字列を表示するフォントを設定します。																																													
AutoSize	文字列が表示範囲内に収まらない場合、表示範囲に収まるよう自動的に文字列を縮小するかどうかを設定します。表示範囲内に収まるかどうかの計算は Text 内の配置属性単位に行われます。																																													
Left	文字列を配置する左端を画面要素の左端からのピクセル数で指定します。																																													
Top	文字列を配置する上端を画面要素の上端からのピクセル数で指定します。																																													
Right	文字列を配置する右端を画面要素の右端からのピクセル数で指定します。																																													

2.システムメンテナンス

Bottom	文字列を配置する下端を画面要素の下端からのピクセル数で指定します。
Alignment	文字列の描画範囲内での配置を設定します。▼をクリックし一覧より選択します。
Color	文字列の色を指定します。右側の▼をクリックすると、“色の指定”ダイアログボックスが開きますので、一覧の中から目的の色を選択します。 Alphaにて文字列の色の透明度を0~255の範囲で設定します。数値が小さくなるほど透明度が高くなります。
OutlineColor	文字列の縁取りの色を指定します。右側の▼をクリックすると、“色の指定”ダイアログボックスが開きますので、一覧の中から目的の色を選択します。 Alphaにて縁取りの色の透明度を0~255の範囲で設定します。数値が小さくなるほど透明度が高くなります。 Widthにて縁取りの幅を指定します。
ShadowColor	文字列の影の色を指定します。右側の▼をクリックすると、“色の指定”ダイアログボックスが開きますので、一覧の中から目的の色を選択します。 Alphaにて影の色の透明度を0~255の範囲で設定します。数値が小さくなるほど透明度が高くなります。 Offsetにて文字列と影の距離を指定します。
Action	文字列の動きを指定します。▼をクリックし一覧より選択してください。指定できる表示動作は以下のようになっています。 <ul style="list-style-type: none"> ● <指定なし> ……文字列の動きはありません。 ● HScroll ……文字列を右から左へスクロールして表示します。 ● VScroll ……文字列を下から上へスクロールして表示します。 ● Blink ……文字列を点滅させて表示します。 Speedにて文字列の動きの速さを指定します。

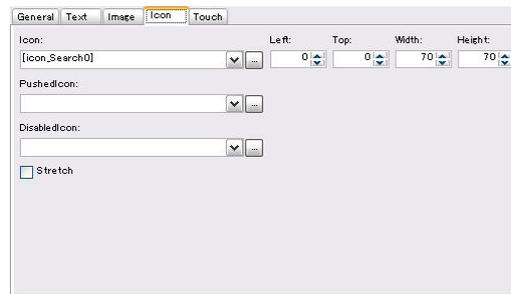
- **Image タブ**



Image タブ表示例

項目	説明
Image	表示する画像の識別名を設定します。識別名は Images フォルダに登録したデータを参照する場合は角括弧「 <code>[]</code> 」で囲みます。それ以外は直接ファイルとして参照されますので、コンコンコールのデータベースが存在するパスからの相対パスで指定します。 頻繁に使用する画像は Images フォルダに登録することをお勧めいたします。これを参照することでシステムのパフォーマンスを向上させることができます。 ▼をクリックすると Images フォルダに登録されている画像が一覧表示されますので、ここから選択することが可能です。右側の <code>...</code> をクリックするとファイルを開くダイアログが開きますのでここから画像ファイルを選択することが可能です。
PushedImage	画面要素がタッチされたとき表示する画像の識別名を設定します。設定方法は Image 項目と同様です。
DisabledImage	画面要素が無効のとき表示する画像の識別名を設定します。設定方法は Image 項目と同様です。
Stretch	画像を画面要素の表示領域に合わせ引き伸ばして表示するかどうかを設定します。

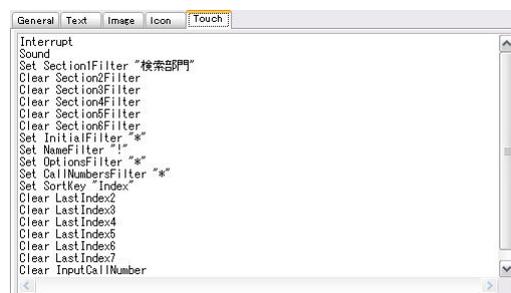
- **Icon タブ**



Icon タブ表示例

項目	説明
Icon	表示するアイコンの識別名を設定します。識別名は Images フォルダに登録したデータを参照する場合は角括弧「 <code>[]</code> 」で囲みます。それ以外は直接ファイルとして参照されますので、コンコンコールのデータベースが存在するパスからの相対パスで指定します。 頻繁に使用する画像は Images フォルダに登録することをお勧めいたします。これを参照することでシステムのパフォーマンスを向上させることができます。 ▼ をクリックすると Images フォルダに登録されている画像が一覧表示されますので、ここから選択することが可能です。右側の [...] をクリックするとファイルを開くダイアログが開きますのでここから画像ファイルを選択することが可能です。
PushedIcon	画面要素がタッチされたとき表示するアイコンの識別名を設定します。設定方法は Icon 項目と同様です。
DisabledIcon	画面要素が無効のとき表示するアイコンの識別名を設定します。設定方法は Icon 項目と同様です。
Stretch	アイコンをアイコンの表示領域に合わせ引き伸ばして表示するかどうかを設定します。
Left	アイコンの表示横位置を画面要素の左端からのピクセル数で指定します。
Top	アイコンの表示縦位置を画面要素の上端からのピクセル数で指定します。
Width	アイコンの幅をピクセル単位で指定します。
Height	アイコンの高さをピクセル単位で指定します。

- **Touch タブ**



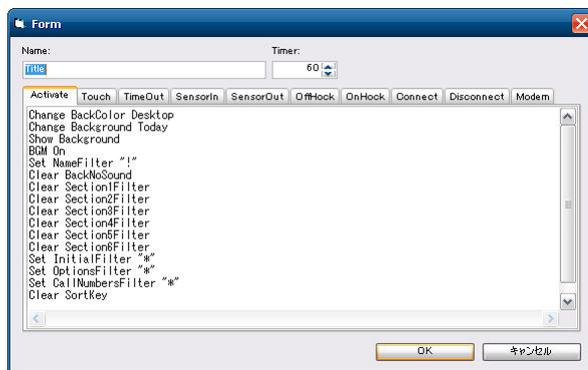
Event タブ表示例

項目	説明
Touch	画面要素がタッチされた時の動作を指定するスクリプトを記述します。記述の方法や動作の種類など詳しくは「 2.4) パラメータ設定における補足事項 」の「 イベント処理 」を参照してください。

◆ **Form(画面)フォルダ**

画面コンテンツの各ページを設定します。画面が表示されているときに発生するイベントがタブで分類されていますので、ここに各イベントに応じたスクリプトを設定します。

スクリプトの記述の方法や動作の種類など詳しくは「**2.4)パラメータ設定における補足事項**」の「**イベント処理**」を参照してください。



Form 登録内容画面の例

項目	説明																						
Name	登録データ一覧表示でデータを識別するために設定します。また画面要素(Element)で表示する画面の識別にも使用しますので必ず設定してください。Name が設定されていないものは登録できません。																						
Timer	ここに設定された秒数分、外部からの入力が無かった場合、後述の TimeOut イベントが発生します。0 に設定した場合、もしくは TimeOut に何も設定されていない場合無効となります。																						
イベントタブ	各イベントが発生したときに実行するスクリプトを記述します。設定できるイベントは以下の通りです。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Activate</td> <td>画面(ページ)が表示されたときに発生します。</td> </tr> <tr> <td>Touch</td> <td>画面にタッチされたときに発生します。</td> </tr> <tr> <td>TimeOut</td> <td>Timer で設定された秒数分、外部からの入力が無かったとき発生します。</td> </tr> <tr> <td>SensorIn</td> <td>使用しません。</td> </tr> <tr> <td>SensorOut</td> <td>使用しません。</td> </tr> <tr> <td>OffHook</td> <td>受話器を取ったとき発生します。</td> </tr> <tr> <td>OnHook</td> <td>受話器を置いたとき発生します。</td> </tr> <tr> <td>Connect</td> <td>使用しません。</td> </tr> <tr> <td>Disconnect</td> <td>使用しません。</td> </tr> <tr> <td>Modem</td> <td>モデムからの応答があったとき発生します。</td> </tr> </tbody> </table>	イベント	説明	Activate	画面(ページ)が表示されたときに発生します。	Touch	画面にタッチされたときに発生します。	TimeOut	Timer で設定された秒数分、外部からの入力が無かったとき発生します。	SensorIn	使用しません。	SensorOut	使用しません。	OffHook	受話器を取ったとき発生します。	OnHook	受話器を置いたとき発生します。	Connect	使用しません。	Disconnect	使用しません。	Modem	モデムからの応答があったとき発生します。
イベント	説明																						
Activate	画面(ページ)が表示されたときに発生します。																						
Touch	画面にタッチされたときに発生します。																						
TimeOut	Timer で設定された秒数分、外部からの入力が無かったとき発生します。																						
SensorIn	使用しません。																						
SensorOut	使用しません。																						
OffHook	受話器を取ったとき発生します。																						
OnHook	受話器を置いたとき発生します。																						
Connect	使用しません。																						
Disconnect	使用しません。																						
Modem	モデムからの応答があったとき発生します。																						

◆ HTMLs(Web)フォルダ

画面に表示する任意の Web ページを設定します。会社紹介や製品紹介などのインフォメーションを表示したり、さまざまな Web ページをコンコンコール上に表示したりすることができます。



HTMLs 登録内容画面の例

項目	説明
Name	登録データ一覧表示でデータを識別するために設定します。
Form	Web ページを表示する画面の名前(Name)を指定します。コンボボックスの一覧の中から選択して下さい。指定が無い場合、画像は表示されません。
Left	Web ページ表示領域の表示横位置をピクセル単位で指定します。(0～800) ※1
Top	Web ページ表示領域の表示縦位置をピクセル単位で指定します。(0～600) ※1
Width	Web ページ表示領域の幅をピクセル単位で指定します。(1～800) ※1
Height	Web ページ表示領域の高さをピクセル単位で指定します。(1～600) ※1
URL	Web ページへの URL を指定します。ローカルファイルを指定することもできますので、インターネットに接続することなく Web ページを表示することができます。

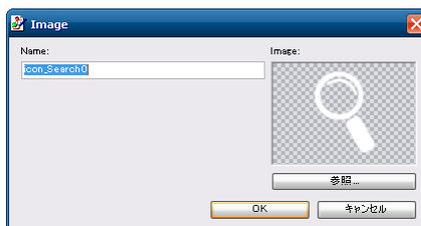
参照...

“ファイルを開く”ダイアログボックスを表示させ登録・変更する HTML ファイルを選択します。選択する HTML ファイルは、ローカルディスクに保存されているものに限りです。

※1 範囲外に指定した場合は、画面要素が表示されません。範囲内で指定してください。

◆ Images(画像)フォルダ

画面に表示する任意の画像を設定します。ボタンの画像や会社のロゴなど頻繁に使用する画像を登録します。

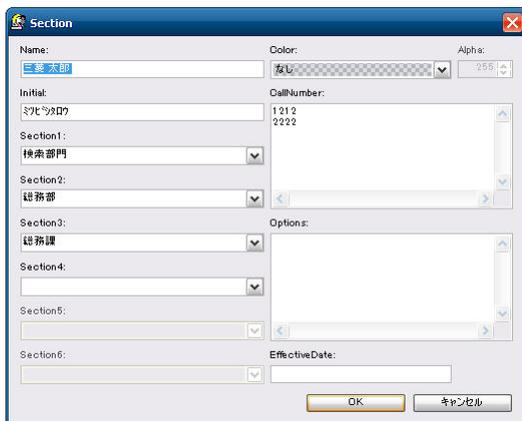


Images 登録内容画面の例

項目	説明
Name	登録データ一覧表示でデータを識別するために設定します。
Image	登録する(してある)画像のイメージです。実際に登録されている大きさは異なります。
参照...	“ファイルを開く”ダイアログボックスを表示させ登録・変更する画像ファイルを選択します。選択できる画像ファイルは、Windows ビットマップファイル又は JPEG、PNG 方式です。

◆ Sections(内線データ)フォルダ

内線データに関する情報を登録します。この情報は画面要素での内線データとの関連付けに利用されます。



Sections 登録内容画面の例

項目	説明
Name	内線データの名称を設定します。内線データ変数の%Name%で表されます。指定が無い場合登録することはできません。
Initial	内線データのフリガナを設定します。内線データ変数の%Initial%で表されます。
Section _n	内線データの上位階層を設定します。内線データ変数の%Section _n %で表されます。
Color	内線データのボタンの色を設定します。右側の  をクリックすると、“色の指定”ダイアログボックスが開きますので、一覧の中から目的の色を選択します。 Alphaにて文字列の色の透明度を0~255の範囲で設定します。数値が小さくなるほど透明度が高くなります。
CallNumber	内線データの内線番号を設定します。内線データ変数の%CallNumber%及び%CallNumbers%で表されます。
Options	内線データの追加情報を設定します。内線データ変数の%Option%及び%Options%で表されず。
EffectiveDate	内線データを有効にする日時を指定します。空白は現在有効な内線データです。データメンテナンスにて2015年4月1日0時に更新予約をすると、2015/04/01 00:00:00というフォーマットでデータが入ります。

◆ Sounds(効果音)フォルダ

各画面で再生される効果音、アナウンスなどの音声データを設定します。



Sounds 登録内容画面の例

項目	説明
Name	登録データ一覧表示でデータを識別するために設定します。
	“ファイルを開く”ダイアログボックスを表示させ登録・変更する効果音ファイルを選択します。選択する効果音ファイルは、予めWindows WAVファイル形式で保存しておきます。
	登録されている効果音データを再生します。

3) Plugins フォルダ(グラフィック描写 dll)

画面要素を描写する dll ファイルを登録します。通常は使用しません。



Plugins フォルダ登録内容一覧の例

4) Settings フォルダ(システム設定)

コンコンコールが動作するための基本的な情報が登録されています。ここに登録されたデータはスクリプト中で環境変数として参照することができます。

変更内容によってはコンコンコールが起動しなくなることもありますので、不用意に変更することは避けてください。登録内容を変更される場合は各項目の意味をよく理解した上で行ってください。

名前	種類	値
CommPort	システム	1
CompanyName	システム	三菱電機エンジニアリング株式会社
CompanyNameE	システム	Mitsubishi Electric Engineering Co.,Ltd.
LineAssortment	システム	PB
ScheduleEnabled	システム	True
SensorSensitivity	システム	20
ShowCursor	システム	False
SystemShutdownEns...	システム	False

Settings フォルダ登録内容一覧の例

登録される情報はシステム設定用のデータと(一覧の種類欄に「システム」と表示)、カスタマイズなどで使用するユーザー定義のデータ(一覧の種類欄に「ユーザー」と表示)があります。

以下に代表的なデータを示します。

名前	値の説明
AutoReboot	システムの自動再起動の間隔を 1 日 (Day)、1 週間 (Week)、無し (None)から選択します。
AutoRebootTime	システムの自動再起動を行う時間を指定します。
CommPort	本体に内蔵されたモデムの割り付けられているポート番号が登録されています。この指定が間違っていると通話機能が使用できなくなります。0 を指定した場合、モデムを使用しないモードになります。
CompanyName	タイトル画面に表示される会社名(組織名)を設定します。
CompanyNameE	英語表記のタイトル画面に表示される会社名(組織名)を設定します。
DialDeregulation	0 発信規制を解除する(True)しない(False)を設定します。
LineAssortment	接続されている内線のダイヤル方式をトーン式(PB)かパルス式(DP10, DP20)から選択します。
Menu Type	メニュー画面の構成を指定します。詳細はカスタマイズ例を参照してください。
ScheduleEnabled	スケジュール運転管理の有効(True)/無効(False)を設定します。
ShowCursor	マウスカーソルを常時表示する(True)しない(False)を設定します。
SystemShutdownEnabled	スケジュール運転管理が有効な場合にシステム(OS)シャットダウンの有効(True)/無効(False)を設定します。
SystemPassword	システム稼動時に 3 隅タッチにより表示されるシステムメニューを表示するためのパスワードを指定します。(システムメニューからパスワードを変更した場合に表示されません。システムメニューについては取扱説明書「2.4」画面の3点タッチ(システムメニュー)を参照してください。)

注意: 登録されていないシステム設定用のデータは新規作成することで内容の確認及び変更が可能となります。

5) パラメータ設定における補足事項

◆ コンコンコールにおける環境変数

コンコンコールでは、文字列を%記号で囲むことで変数として使用することができます。また Settings に登録されたデータや次のようなシステムで使用する内部環境変数を使用することもできます。

変数名	説明
Year, Month, Day, Hour, Minute, Second	システム日時に関する値
IoTalking, IoOffHock, IoOnHock, Io00 ~ Io07, Io10 ~ Io13	システムのセンサー類の状態を0または1で表します。
ModemReturn	モデムからの応答メッセージを表します。
Index, Name, Initial, Section, Section1 ~ Section6, Option(1) ~ Option(9), Options, CallNumber, CallNumbers	現在読み込まれている内線データの各項目の値を表します。 画面要素 (Element) にて関連付けられた内線データを参照する場合は変数名を{ }記号(中括弧)で囲みます。
IsIndex, IsName, IsInitial, IsSection1 ~ IsSection6, IsOptions, IsCallNumbers	画面要素と関連付けられた内線データの各項目が登録されているかどうかを0または1で表します。
NameFilter, InitialFilter, Section1Filter ~ Section6Filter, OptionsFilter, SortKey	内線データの抽出条件を設定します。
DataCount	現在抽出されている内線データの数を表します。
DataIndex	現在抽出されている内線データの現在注目している位置番号を表します。

これらの環境変数は画面要素(Elements)の Text の中で使用することで、環境変数に設定されている値を表示することができます。

また、画面要素(Elements)の Image や Icon の中で使用することで画像の表示の制御や、イベントのスクリプト内で使用することで処理の流れを制御することができます。

◆ イベント処理

コンコンコールでは処理の基本をイベントとして動作しています。イベントは画面にタッチされた時や画面が切り替わった時、回線の状態など制御回路から入力があった場合などに発生します。そしてこれらのイベントを受け取るものが画面(Form)と画面要素(Elements)で、Touch や Activate, TimeOut といったパラメータがイベント発生時に処理する命令を記述したものです。

命令・書式	概要
Add 環境変数名 値	環境変数に値を加算します。 <ul style="list-style-type: none"> 環境変数名 環境変数を指定します 値 環境変数に加算する値
BGM {0n 0ff }	音楽(BGM)の制御をします。 On で音楽の演奏を開始します。Off で音楽の演奏を停止します。
BGV {0n 0ff }	動画(BGV)の制御をします。 On で動画の再生を開始します。Off で動画の再生を停止します。
CALC PAGE 数値	数値で指定されたページ内データ数における現在の内線データ数と位置番号からページ総数と現在のページ数を計算しそれぞれ PAGES 及び PAGE 環境変数に格納します。

Change	背景または音楽を変更します。
{Background [識別名] [色] BGM [識別名] BGV [識別名] BackColor 色 Timeout 秒}	Background は背景、BackColor は背景色、BGM は環境音楽、BGV は環境動画、Timeout は Form (画面) の Timer 値をそれぞれ変更します。識別名を指定すると、任意の背景または音楽に変更することができます。Background を指定する場合は識別名の後に更に色 (Black、Red 等の色名または # から始まる8桁または6桁の16進数) を指定することができます。BackColor を指定する場合は識別名に色 (Black、Red 等の色名または # から始まる8桁または6桁の16進数) を必ず指定します。Timeout を指定する場合は識別名に新しい Timer 値 (秒数) を必ず指定します。
Clear 環境変数名	環境変数を消去します。 <ul style="list-style-type: none"> 環境変数名 環境変数名を指定します。(前後の%は省く)
CloseProcess 識別名	Process 命令によって起動した外部実行モジュールを終了させます。
CutLeft 環境変数名 [文字数]	環境変数に格納されている文字列から指定された文字数だけ左から削除します。
CutRight 環境変数名 [文字数]	環境変数に格納されている文字列から指定された文字数だけ右から削除します。
Dial {Next nnn}	内線番号にダイヤルします。パラメータが指定されない場合、環境変数 %CallNumber% に設定されている内線番号が使用されます。 <ul style="list-style-type: none"> [NEXT] 省略可能です。このパラメータが指定された場合、%CallNumber% に内線番号が複数指定されていれば、指定された内線番号の順序を入れ替え、2 番目に登録されていた内線番号にダイヤルします。 nnn 省略可能です。指定された場合 nnn にダイヤルします。
Div 環境変数名 値	環境変数の値を除算します。 <ul style="list-style-type: none"> 環境変数名 環境変数を指定します 値 環境変数をこの値で除算します
Execute 実行モジュール [コマンドライン引数]	コンソールの実行を一時中断し、パラメータで指定された実行モジュールを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> 実行モジュール 実行するモジュールの名前 コマンドライン引数 実行モジュールに渡すパラメータ
Fix 環境変数名	環境変数の値の小数部分を切り捨てて整数値に丸めます。
GetData	現在参照しているデータベースの値を環境変数に取り込みます。
Halt { Handset Talking} 時間	制御回路から入力される信号を一時的に停止させます。Suspend 命令との違いは指定時間経過後、制御回路から入力状態により各イベントが発生します。 <ul style="list-style-type: none"> Handset 受話器のフック状態 Talking 通話状態 時間 入力を一時停止させる時間を秒単位で指定します。
Hide {Element Background Screen MessageBox}	パラメータで指定されたオブジェクトを非表示にします。
HTMLExec コマンド パラメータ	指定された HTML ドキュメント (IE コンポーネント) に対しコマンドを実行させます。コマンドの詳細についてはインストールされている Internet Explorer のドキュメントを参照してください。

<p>If 条件式 イベント処理命令... [ElseIf] [イベント処理命令...] [Else] [イベント処理命令...] EndIf</p>	<p>イベント処理命令の流れを制御します。条件式が満たされた場合は EndIf までの(Else が指定された場合は Else までの)イベント処理命令を実行します。Else が指定された場合、条件式が満たされなかった時 Else から EndIf までのイベント処理命令を実行します。</p> <p>条件式の例</p> <pre style="margin-left: 20px;">%A% = 1 %B% >= "A"</pre> <p>(比較演算子と値とは必ずスペースで区切って下さい。)</p>
<p>Interrupt [Keep]</p>	<p>現在実行中のスクリプトを中止してこの命令の後に続くスクリプトを実行します。</p> <p>Keep が指定された場合は現在実行中のスクリプトは中断され、この命令の後に続くスクリプトを実行後に再開されます。</p>
<p>KillProcess 識別名</p>	<p>Process 命令によって起動した外部実行モジュールを強制終了させます。</p>
<p>Link 画面識別名 [{Clear Fade SlideIn SlideOut ZoomIn ZoomOut}]</p>	<p>画面を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画面識別名 …… 画面(Forms)に登録されているデータの Name を指定します。%PreviousForm%を指定すると、前の画面に戻ります。 • 切り替え効果 …… 指定することで画面切り替え時に以下のアニメーション効果が発生します。 <ul style="list-style-type: none"> Clear: 画面を一旦消去します Fade: フェードアウトしながらフェードインします SlideIn: 次の画面が右からスライドインします SlideOut: 現在の画面が左へスライドアウトします ZoomIn: タッチした位置から次の画面が現れます ZoomOut: タッチした位置に画面が消えていきます
<p>Load {Element Data HTML} 識別名</p>	<p>データとして登録されている画面要素、データまたは Web を呼び出し、画面に表示します。</p>
<p>Monitor {On Off}</p>	<p>ディスプレイモニタの電源(省電力モード)の On/Off を行います。</p>
<p>MoveDataIndex レコード数</p>	<p>内線データのカレントレコードポジションを移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • レコード数 移動させるレコード数を指定します。負数の場合前方へ移動します。
<p>Mul 環境変数名 値</p>	<p>環境変数の値を乗算します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 環境変数名 環境変数を指定します • 値 環境変数をこの値で乗算します
<p>Navigate 識別名 URL</p>	<p>指定された HTML ドキュメント(IE コンポーネント)にて指定された URL を表示します。</p>
<p>OffHook</p>	<p>擬似的に受話器を取った状態にします。</p>
<p>OnHook</p>	<p>回線を切断します。</p>
<p>ProgramEnd</p>	<p>コンコンコールを終了します。</p>
<p>Process 識別名 実行モジュール [パラメータ]</p>	<p>パラメータで指定された実行モジュールを実行します。コンコンコールの実行はそのまま継続します。</p>
<p>ReceiveModem</p>	<p>モデムからの応答を待ちます。</p>
<p>Refresh</p>	<p>画面を再描画します。</p>
<p>Reset {Timer Event Application System}</p>	<p>指定されたオブジェクトを初期化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Timer 無操作時間をリセットします。 • Event イベント処理待ちをキャンセルします。 • Application メインプログラムのみを再起動します。 • System システムを再起動します。

Rotate 環境変数名 回数	環境変数に設定されている値を改行コードを区切りとして順序を入替えます。
Round 環境変数名 [小数点以下桁数]	環境変数に設定されている値を指定された小数点以下の桁数で四捨五入します。
SendControl {Handset} {0n 0ff} [時間]	制御ボードに対して信号を出力します。 時間 信号を出力させる時間を秒単位で指定します。
SendModem AT コマンド	モデムに対し AT コマンドを送ります。
SendProcess 識別名 パラメータ	Process 命令により起動された実行モジュールに対し、パラメータで指定された文字列を送信します。
Set 環境変数名 設定値	環境変数に値を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 環境変数名 環境変数名を指定します。(前後の%は省く) 設定値 環境変数に設定する値
Shift 環境変数名 回数	環境変数に設定されている値を改行コードを区切りとして指定された行数分シフトします。
Show {Element 識別名 Background [透過度] MessageBox メッセージ Screen}}	パラメータで指定されたオブジェクトを表示します。
Sleep	システムを停止状態にします。
Sound 効果音識別名	効果音(Sounds)に登録された音声データを再生します。 <ul style="list-style-type: none"> 効果音識別名 …効果音(Sounds)に登録されているデータの Name を指定します。
Sub 環境変数名 値	環境変数に値を減算します。 <ul style="list-style-type: none"> 環境変数名 環境変数を指定します 値 環境変数から減算する値
Suspend { Handset Talking} 時間	制御回路から入力される信号を一時的に無効にします。Halt 命令との違いは指定時間経過後にイベントは発生しません <ul style="list-style-type: none"> Handset 受話器のフック状態 Talking 通話状態(極性反転状態) 時間 入力を一時停止させる時間を秒単位で指定します。
Unload {Element HTML} 識別名	画面に表示されている画面要素または WEB を解放し非表示にします。
Video 動画ファイル名	指定された動画ファイルを再生します。 <ul style="list-style-type: none"> 動画ファイル名 …コンパクトフラッシュメモリに保存されている動画ファイルのファイル名を指定します。
Wait {Dial Talk 待ち時間 OnHock {0n 0ff} OffHock {0n 0ff} If 条件式 IO}	条件が満たされている間処理の実行を一時中断します。
Wakeup	システム停止状態を解除します。
WriteLog {コメント Dial}	動作ログにコメントを記録します。 Dial を指定するとシステムインストールフォルダの DialLog フォルダ下に通話記録を出力します。

6) カスタマイズにおける補足事項

◆ Forms の対応画面について

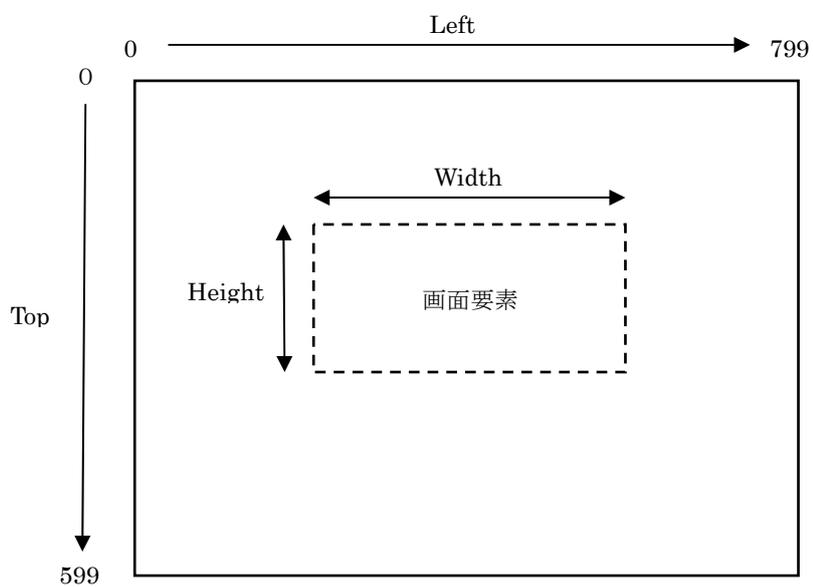
標準仕様での画面です。カスタマイズを行っている場合は一致しないことがあります。

Index	Name	対応画面	備考
0001	Startup		起動時はここからスタートします。対応する画面はありません。 Activate タブの内容を実行後、Title 画面に移行します。
0002	Title		
0003	Menu		
0004	Section		
0005	Initial		
0006	Person		
0007	Number		
0008	Dial		
0009	Talk		
0010	TitleE		英語表記の Title 画面
0011	MenuE		英語表記の Menu 画面
0012	SectionE		英語表記の Section 画面
0013	InitialE		英語表記の Initial 画面
0014	PersonE		英語表記の Person 画面
0015	NumberE		英語表記の Number 画面
0016	DialE		英語表記の Dial 画面
0017	TalkE		英語表記の Talk 画面
0018	Dummy		対応する画面はありません。画面要素を作成しておき、命令文の Load で呼び出す場合などに使用します。

◆ Elements (画面要素)、HTMLs (Web) の配置位置について

画面及び画面要素の基準は左上となっています。(画面の左上が Left=0,Top=0、右下が Left=799,Top=599)

画面要素のサイズを Width と Height で設定します。

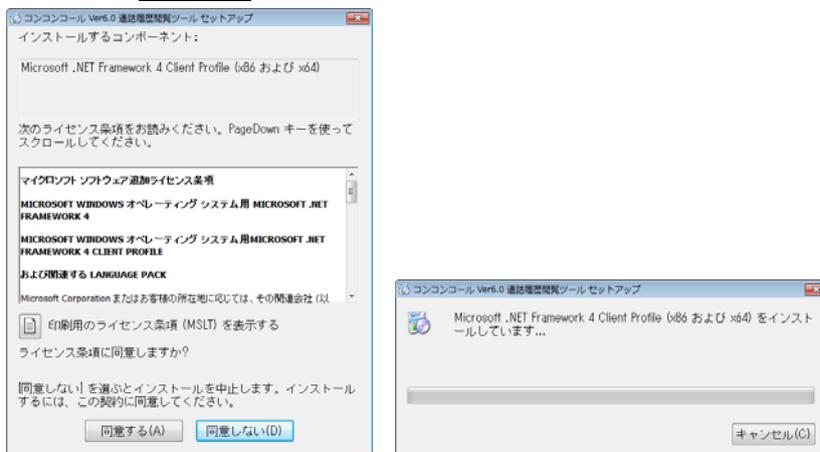


3 お手持ちのパソコンでデータをメンテナンスする

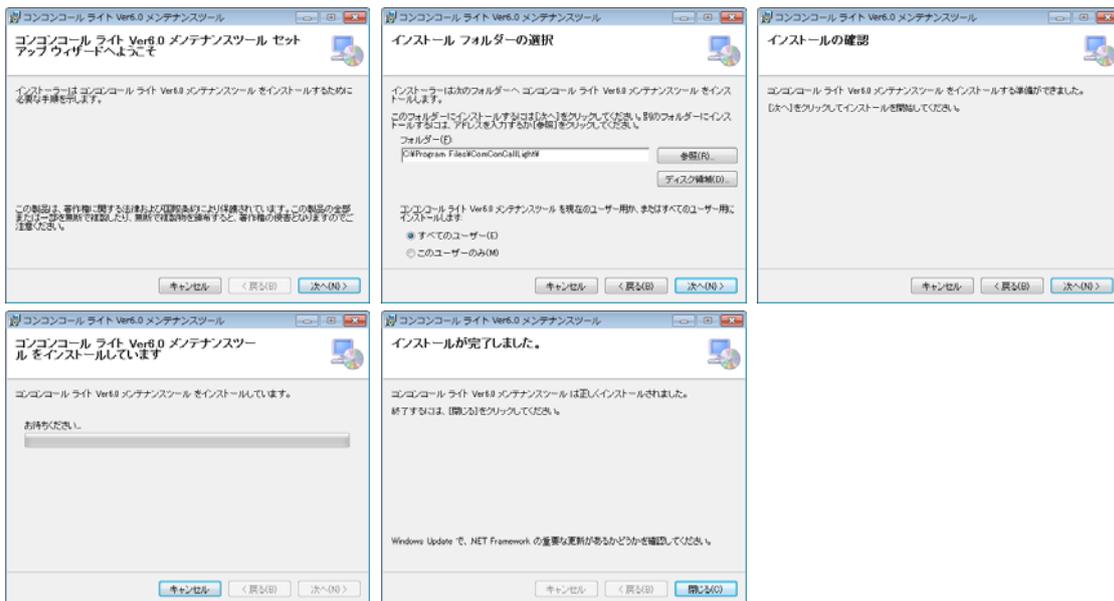
お手持ちのパソコンにメンテナンスツールをインストールして、データのメンテナンスを行うことができます。

◆ メンテナンスツールのインストール

- ① データのメンテナンス用に用意したパソコンに、コンコンコール セットアップ CD-ROM を挿入します。
- ② CD-ROM の自動再生機能によりセットアップが起動します。セットアップが自動的に起動しない場合は、Windows の「スタート」メニューから **プログラムとファイルの検索** に「D:¥Setup¥Setup.exe」と入力して **Setup.exe** を実行してください。(CD-ROMドライブが D:の場合)
- ③ 本プログラムは Microsoft .NET Framework 4を必要とします。使用する端末にインストールされていない場合は Microsoft .NET Framework 4 のインストール画面が表示されます。ライセンス条項を確認の上 **同意する(A)** をクリックしてインストールしてください。
インストール途中にユーザーアカウント制御で「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示された場合は **はい(Y)** をクリックしてください。

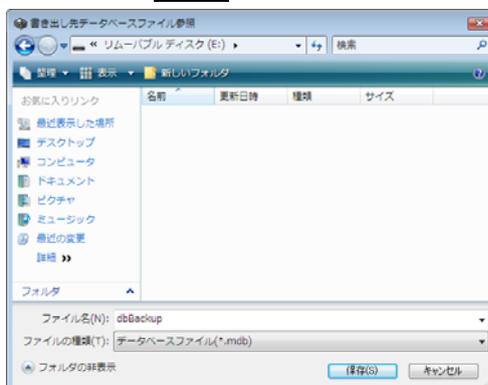


- ④ 「セットアップウィザードへようこそ」のウィンドウが表示されたら **次へ(N)** をクリックします。
インストール先のフォルダを指定し、インストールするユーザーのタイプを指定します。
インストール途中にユーザーアカウント制御で「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示された場合は **はい(Y)** をクリックしてください。
セットアップが終了し、「セットアップの完了」のウィンドウが表示されたら **閉じる(C)** をクリックします。



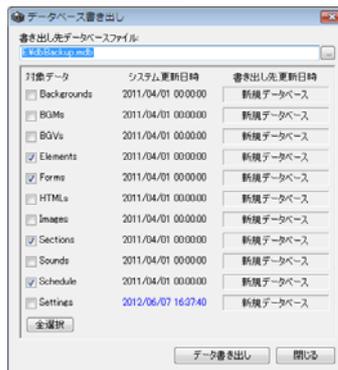
◆ メンテナンス方法

- ① コンコンコールシステムメンテナンスを起動します。
- ② データを編集します。
- ③ メニューバーより **ファイル(F)**—**データデータベースの書き出し(バックアップ)** を選択します。
- ④ 保存先ディレクトリ、ファイル名を指定し **保存** をクリックします。(保存先をUSBメモリ等に設定します。)



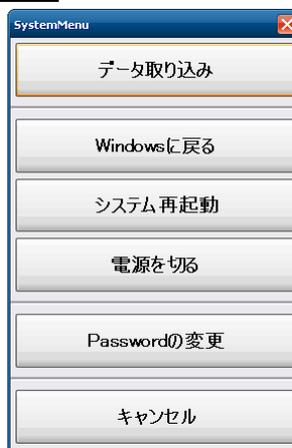
参考: スケジュール運転管理の場合はメニューバーより **ツール(T)**—**外部データベース書き出し(W)** を選択します。

- ⑤ 編集した対象データを選択して **データ書き出し** をクリックします。



データベース書き出しの表示例

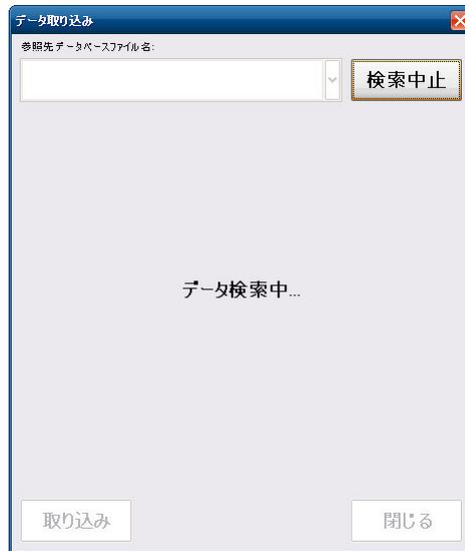
- ⑥ 書き出し終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。
- ⑦ USBメモリ等を本端末にセットします。
- ⑧ 画面の3点タッチより、**データ取り込み** をクリックします。



システムメニュー画面

3.お手持ちのパソコンでデータをメンテナンスする

- ⑨ データ取り込みダイアログが開き、データの検索が始まります。手動で取り込むデータを指定する場合は、**検索中止** をタッチして目的のデータを指定してください。



データ取り込み画面の表示例

- ⑩ 目的のデータが表示されたら、取り込む項目をクリックして、**取り込み** をクリックします。



- ⑪ データベースの最適化が行われ、プログラムが再起動します。
⑫ データが更新されているか確認してください。

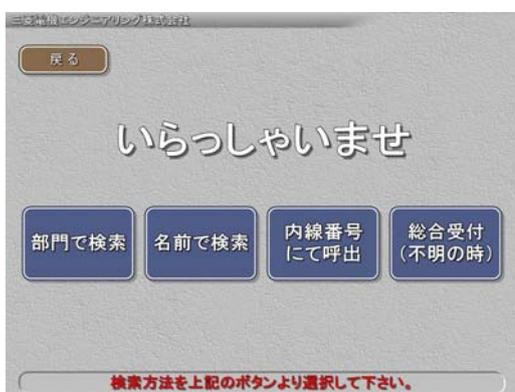
4 コンコンコールのカスタマイズ例

ここでは、コンコンコールをより快適にお使い頂くため、様々なカスタマイズ例の設定手順をご紹介します。

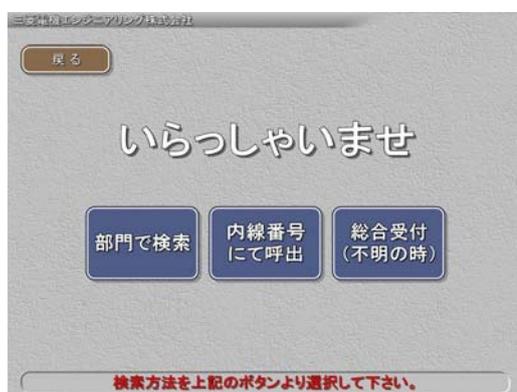
1) メニュー画面の構成を変更する

「名前で検索」ボタンを表示しない場合など、使用目的に合った構成に設定できます。

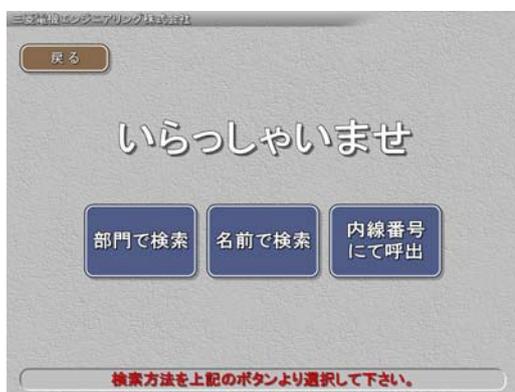
- ① コンコンコールシステムメンテナンスを起動します。
- ② 登録情報フォルダの「Settings」フォルダを選択します。
- ③ 登録内容一覧で名前欄が「MenuType」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。
- ④ 値を A～F に変更します。(下図参照)
- ⑤ システムメンテナンスを終了します。
- ⑥ コンコンコールを起動し、メニュー構成が変更されていることを確認します。



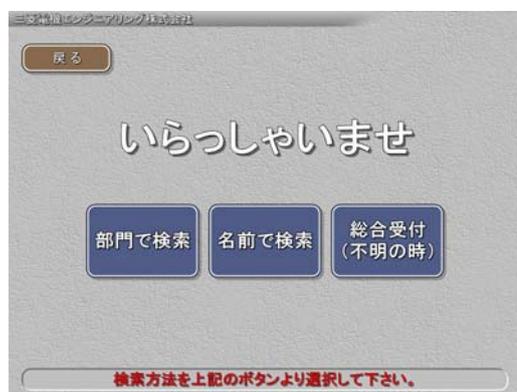
A(標準)



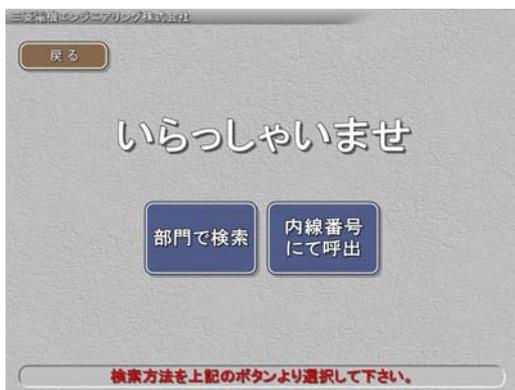
B



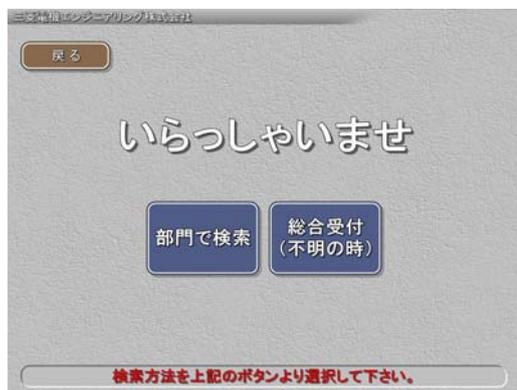
C



D



E

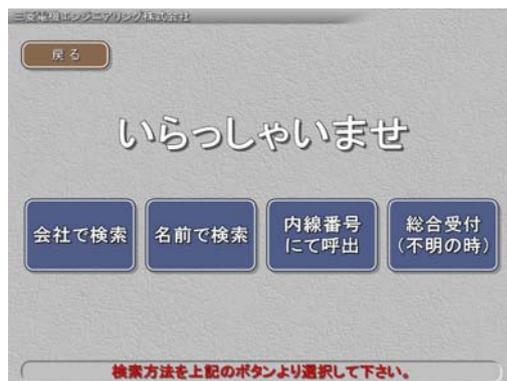
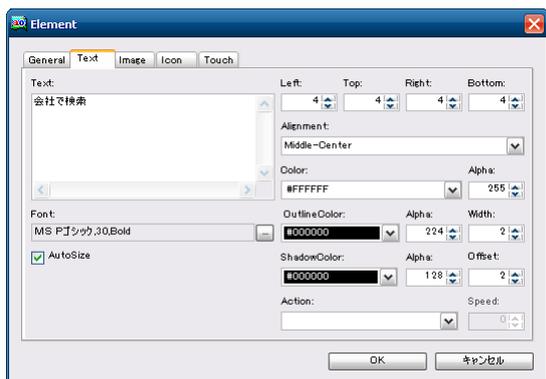


F

2) メニュー画面のボタン名称を変更する。

複数の会社で使用する場合など、「部門で検索」ボタンを「会社で検索」に変更します。

- ① コンコンコールシステムメンテナンスを起動します。
- ② 登録情報フォルダの「Datas」-「Elements」フォルダを選択し、登録内容一覧でName欄が「Menu 部門で検索」のデータをダブルクリックで開きます。
- ③ Text タブの Text 欄を「会社で検索」に変更し、**OK** をクリックします。
- ④ 同様に Name 欄が「SubMenu 部門で検索」をダブルクリックで開き、Text 欄を変更します。
- ⑤ システムメンテナンスを終了します。
- ⑥ コンコンコールを起動し、「会社名で検索」に変更されていることを確認します。

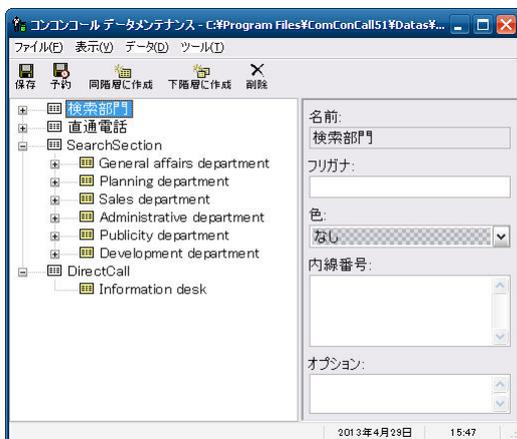


3) 「English」ボタンを追加してバイリンガル対応にする

タイトル画面・メニュー画面に「English」ボタンを表示し、バイリンガル対応にします。

「English」ボタンをタッチすることによって、表記・アナウンスが英語に変わります。

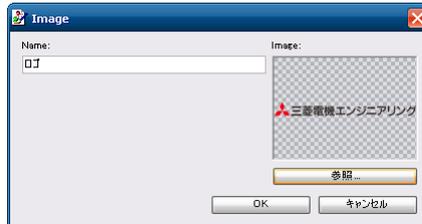
- ① コンコンコールデータメンテナンスを起動します。
- ② 最上位階層に「SearchSection」、「DirectCall」を新規作成します。(メニュー画面で「総合受付」ボタンを表示しない設定の場合は「DirectCall」は必要ありません)
- ③ 「SearchSection」の下階層に英語の部門・担当者を登録します。
- ④ 「DirectCall」の下階層に「Reception」(総合受付)を作成して内線番号を登録します。
- ⑤ 保存し、データメンテナンスを終了します。
- ⑥ コンコンコールを起動し、タイトル画面とメニュー画面に「English」ボタンが追加されていることを確認します。



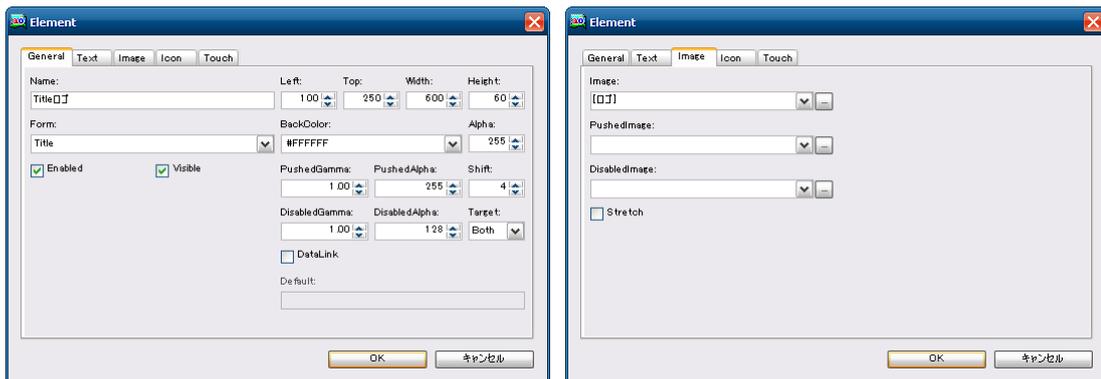
4) タイトル画面の組織名をロゴ(画像)に変更する

タイトル画面の「ようこそ〇〇〇〇へ」をロゴに変更します。

- ① ロゴの画像を用意します。背景は透明にし、Windows ビットマップ形式(.BMP)又は PNG 方式で作成すると見栄えが良くなります。表示サイズは 800×600 ピクセル以内としてください。
- ② コンコンコールシステムメンテナンスを起動します。
- ③ 登録情報フォルダの「Datas」-「Images」フォルダを選択し、新規作成します。
- ④ **参照** をクリックして用意した画像を選択し、**OK** をクリックします。



- ⑤ 登録情報フォルダの「Datas」-「Elements」フォルダを選択し、新規作成します。
- ⑥ General タブの Name 欄を入力し、Form 欄で「Title」を選択し、Left・Top・Width・Height を入力します。Left・Top は画像の左上位置、Width・Height は画像の表示サイズです。
- ⑦ Image タブの Image 欄で④で登録した画像を選択し、**OK** をクリックします。Stretch にチェックを入れると Width・Height で指定したサイズに画像をリサイズして表示します。



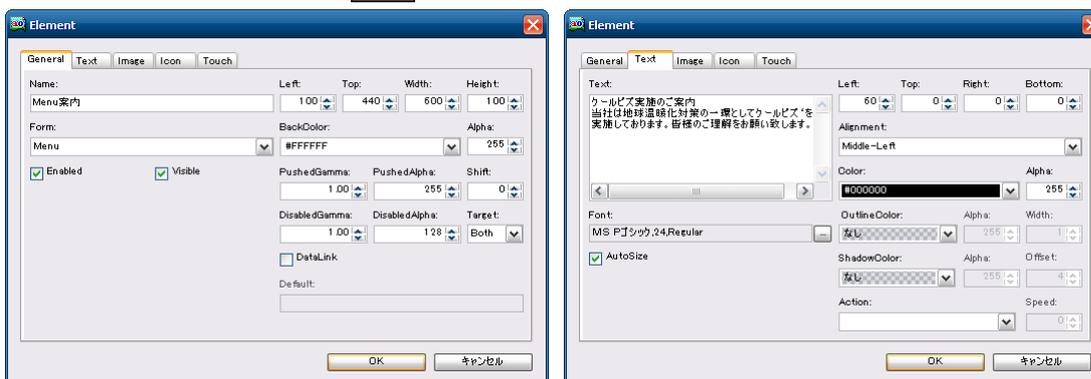
- ⑧ 登録情報フォルダの「Datas」-「Elements」フォルダを選択し、登録内容一覧で Name 欄が「Title 社名」のデータをダブルクリックで開きます。
- ⑨ General タブの Visible のチェックを外して **OK** をクリックします。
- ⑩ システムメンテナンスを終了します。
- ⑪ コンコンコールを起動し、ロゴが表示されることを確認します。



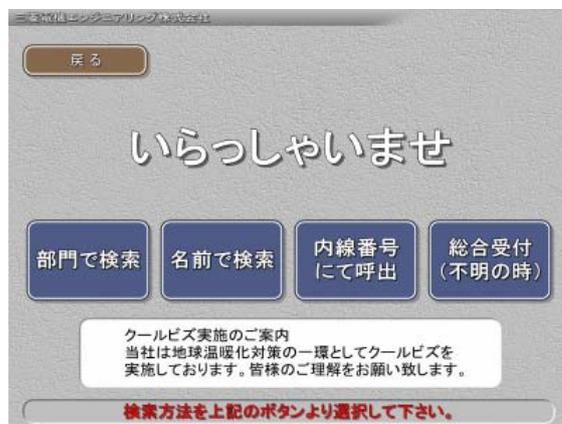
5) 画面にメッセージを追加する

任意の画面にメッセージを追加します。例としてメニュー画面にクールビズの案内を表示します。

- ① コンコンコールシステムメンテナンスを起動します。
- ② 登録情報フォルダの「Datas」-「Elements」フォルダを選択し、新規作成します。
- ③ General タブの Name 欄を入力し、Form 欄で「Menu」を選択し、Left・Top・Width・Height を入力します。Left・Top はメッセージ表示領域の左上位置、Width・Height はメッセージ表示領域の表示サイズです。お好みにより BackColor(背景色) 欄や Image タブの Image 欄を変更して表示領域を装飾します。
- ④ Text タブの Text 欄にクールビズの案内を入力して Font 欄で文字のフォントや大きさを設定します。AutoSize にチェックを入れると、表示領域に収まらない場合に縮小して表示します。Left・Top・Width・Height で余白を設定します。Color 欄で文字色を変更し、**OK** をクリックします。



- ⑤ システムメンテナンスを終了します。
- ⑥ コンコンコールを起動し、メッセージが表示されることを確認します。



※ 文字に縁取りを付けたり、文字をスクロールして表示することも可能です。詳細は Elements (画面要素) フォルダ項目を参照してください。

輸出管理に関するお願い

当システム実現するためのコンピュータやソフトウェアによっては、輸出貿易管理令別表第1の8の項、貨物等省令第7条第一号第八に該当する貨物となりますので、当システム及びパソコンを海外在住者、海外法人など非居住者に提供する場合には、外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第48条第1項に基づく役務取引許可輸出許可が必要となります。

Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows®CE は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

その他、記載されているプログラム名、CPU 名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

受付案内システム ライトタイプ カスタマイズ説明書

発行日 2015 年 4 月 (初版発行)

発行責任 三菱電機エンジニアリング株式会社

〒508-0015 岐阜県中津川市手賀野 3-40

本プログラムおよびマニュアルは無断で複製することを禁止します。

本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。

53A952A8901